



いずみ

特定非営利活動法人 いずみ
☆いずみ作業所
☆就労定着支援 いずみ
横須賀市長井1-18-56
TEL&FAX 046-856-7074
☆アトリエかもめ
横須賀市ハイランド4-50-8
TEL&FAX 046-848-7023

明るい話題が待ち遠しいです

一部地域を除いて新型コロナ感染症もやや収まってきて、連休の人出も戻ってきたようですが、私は、今年の連休はなんともさえない気分で過ごしました。何処にも出かけずに、決算処理の事務仕事をこなしていました。終日パソコンに向かっていると、1月に骨折した右肩が痛みます。骨はほぼくっついたので、特に日常生活に支障は無く、車の運転も出来ますが、肩から指先にかけて各所の関節、筋肉が拘縮し、可動域が狭まっています。

また、手術後の血尿が心配で、泌尿器科を受診したところ、血液検査のPSA値が少々高く、前立腺ガンの心配有り、CT、MRI、針生検の結果、まずはホルモン治療。ついで、放射線治療の予定です。ここまですれば10年後の生存率は95%とのことで、筋力回復が急務です。

行楽シーズン幕開けの出鼻を挫くような知床半島遊覧船の遭難事故は痛ましい限りです。荒天が予想されているなか、通信機器の故障も承知の上で危険な海域に出かけたのは暴挙そのものです。

暴挙と言えば、ロシアのウクライナ侵攻も常軌を逸した行動としか思えないのですが、仕掛けた側は至極大真面目でウクライナがネオナチに蝕まれるのを阻止し、ロシア系住民の保護が目的だと主張し、当初は旬日を経ずして首都キーウも制圧出来ると目論んでいたようです。

ところが、意外にもウクライナ軍が頑強に抵抗し、すでに侵攻開始から2か月半近く経っています。もちろん8年前のクリミア半島併合の時と違って、西側諸国が一致して経済制裁と共に大規模な武器供与を行っているからです。それにしてもマリウポリの製鉄所の地下に民間人も含めた大勢の人が長期間立てこもって猛攻撃に耐えたことは、ロシア軍の残虐行為と共に後世に語り継がれる事でしょう。しかし、これ以上紛争が長引くとエネルギー・食料危機、経済停滞を招きます。

この原稿を書いている時点で詳細不明ですが、5月9日の対ドイツ戦勝記念日に何らかの動きがあるようですが、あまり期待できそうもありません。早期の終息を切望します。 七條

5月～6月のいずみ作業所の畑だより

すっかり暖かくなりキャベツ等は油断すると花芽が成長しパングしてしまいます。また、蛾や蝶々が活発に活動を始め、青虫で穴だらけになってしまいます。放置すると、連休の間大変なことになるので、勿体ないと思いましたが、被害の大きいキャベツ畑をまとめてトラクターで踏みつぶしました。

キヌサヤ、スナップエンドウが本格的に取れています。スナップエンドウは今回始めて植えたのですが、実が大きくなって鞘が柔らかいのでびっくりしています。遅れていた空豆も連休明けから取り始めます。ニンニクも取れそうです。

茄子、キュウリは連休前に定植しました。里芋は少々遅れてキャベツの跡地に植えます。サツマ芋も植える場所が無くて随分と植え付けが遅れています。 七條

資源回収にご協力ありがとうございます。
アルミ缶も従来どおり回収します。

4月度回収量22,851kg、回収奨励 ¥91,200 雨天のときは布類は引き取れません!!

	回収日	4月度	5月度	6月度	7月度
森崎地区	(第2金曜日)	5,317kg	5月13日	6月10日	7月8日
ハイランド地区	(第3土曜日)	17,534kg	5月21日	6月18日	7月16日

(雨天でも行います。ただし、台風、大雨、積雪のときは中止します)
(回収品は09:00までに道端にお出し下さい。)

(種類ごとに別々の車で回収していますので、あと出しは回収漏れとなります。)

良く見えるように門外にお出し下さい。
回収対象品の種類のお知らせとお願い

☆古紙類・新聞、雑誌、ダンボール、紙パック、その他の紙に分類して下さい。

☆衣類・ぼろ布、古着 雨天のときは衣類を出さないで下さい!!!

良品は「バザー用」と大きく表示して下さい。

・缶 従来通りアルミ缶を透明袋に入れてお出しください。

・鉄製品 自転車(タイヤを外す)、門扉、フェンス、側溝の蓋
解体したスチール製の物置
(ポット、ジャー、レンジ、ストーブ、三輪車は対象外)
(プラスチック、電線の組み込まれた品物は対象外)

・アルミ製品 鍋、釜、サッシュ、門扉

・銅製品 銅パイプ、銅チューブ、銅板、水道の蛇口など

・電線 家庭用屋内配線(Fケーブル)より太い物
(電話線など細い物は対象外)

☆その他・こでん、希少金属含有物

連絡先: いずみ作業所: 856-7074、アトリエかもめ: 848-7023、七條: 848-5114

株式会社 アサヒリソース

〒239 神奈川県横須賀市久里浜2-25-9 405
-0831 TEL046-847-1366・FAX046-848-0366

こでん(使用済小型家電)について

中国の環境規制強化により廃プラスチック、細い電線の処分が困難になりました。したがって、従来回収対象としていたものが変更せざるを得なくなりました。

当面、こでん回収対象品は次のものに限定させていただきます。

DVDプレーヤー、携帯電話、スマホ、ハードディスク、回路基板

家電リサイクル対象物は出さないでください。

(エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機。これらはリサイクル券が必要です。)

アルミ缶を下さい! 雨天でも回収します。(雨天時は布類は不可)

台風・大風・積雪の時は中止します。(ゴルフ、サッカーの試合が中止となるような時です)

< 5・6月の予定表 >

- 5/13 資源回収 森崎地区 (AM9:00~)
- 5/21 資源回収 ハイランド地区 (AM9:00~)
- 6/10 資源回収 森崎地区 (AM9:00~)
- 6/18 資源回収 ハイランド地区 (AM9:00~)

いずみ作業所 (☆印は同一行事です) アトリエかもめ (☆印は同一行事です)

- 5/6 クラブ活動
- 5/6,20 バイタルチェック
- 5/10,17,24,31 音楽療法
- 5/11 防災訓練
- 5/11,18 パソコン
- 5/13 森崎地区資源回収
- 5/27 支援員ミーティング
- 5/10,24 ステンシル
- 5/13,27 バイタルチェック
- ☆5/21 ハイランド資源回収
- 5/30 支援員ミーティング
- 5月各週 市役所アルミ缶回収



ありがとうございました 賛助会員を募っています

(特非)いずみ

- ・(株)アサヒリソース様

任意団体「いずみ会」を発展的に解散し、平成26年4月1日付で特定非営利活動法人いずみとして活動開始しました。

(特非)いずみは障害者の日常生活支援、個々の能力に応じた働く場、一般市民との交流の場を提供するとともに、一般市民に対して障害者福祉に関する啓発活動を行い障害者が地域の一員として暮らしてゆける豊かな社会の実現に寄与することを目的としています。

この目的達成のため、障害福祉サービス事業の指定を受け、生活介護事業所としての「いずみ作業所」「アトリエかもめ」を開設しました。(「自主訓練会」は解散しました。)地域の皆様との交流を深めるため従来より資源回収のご協力をお願いしていますが、賛助会員になって頂きたいと思っております。

会費 一口 1,000円(何口でも可)

会費は郵便振替又は作業所にお持ちください。

振替口座名義:特定非営利活動法人いずみ

口座番号 : 00200-6-102213

従来の「いずみ会」の番号から変わりました。

HP 「特非 いずみ」検索

<https://www.yokosuka-izumi.com/>

いずみ作業所

- ・櫻井様(小田原市)

アトリエかもめ

- ・作業ボラ
- ・小物袋ボラ
- ・伊藤様(ハイランド)
- ・岡本様(ハイランド)
- ・鎌田様(ハイランド)
- ・島崎様(大矢部)
- ・清光会様

バザー用品の方々

資源回収の際、その他、色々バザー用品を沢山頂きます。お名前を記しませんでしたがご協力に感謝申し上げます。

いずみ作業所日記 Part197

～ クラブ活動 ～

いずみ作業所では、月1回クラブ活動を行っています。
今月から新しく「英語クラブ(仮)」が加わったのでご紹介します。

☆名前をローマ字で書く! ☆A-B-Cの歌♪ ☆単語の発音練習

英語を話せる職員が中心となり、より興味を持ってもらえるようなプログラムを組んでいます。

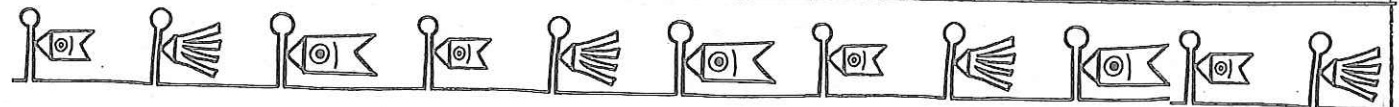
活動中は、笑顔で参加している姿を見ることが出来ました。

まだ始まったばかりのクラブですが、応援よろしくお祈りします!

～ 看護師紹介 ～

5月より新たに、野村純子さんが月2回訪問し、健康管理をさせていただきます。

いずみ作業所支援員記



2022年度が始まりました。4月号でご紹介した新たな支援員も仲間に加わり賑やかに過ごしています。

3月、4月は毎年、モニタリング(支援計画の振り返り)と支援計画の見直し、作成を行っています。1年を振り返る事はとても有意義で「あんな事」や「こんな事」あったなあ〜とか、この作業はとても上手になったよね。などを振り返りながら今年度の計画を作成するわけです。作成した計画案を利用者の方々に(希望されるご家庭は保護者の方々にも)一緒に説明させていただくのですが、面談中の皆は誇らしげに私には見えるのです。

「俺こんなこと頑張っているんだ!!」とか「私はこの仕事が好き!!」などなど

かもめの利用者さんの多くは達成しやすい課題から少しずつ階段を登るようにスモールステップをしていくように支援しています。誇らしげに見えたのはその達成感なのでしょう。親御さんもそれに嬉しそうに反応して下さるので話が尽きず、1時間以上話をしていることも…。もちろん課題等もお示ししないといけないわけではありますが、ご家庭と一緒に前向きに捉えることができるので支援員としては大変ありがたい事と感謝しています。改めて信頼関係の構築が大事なことと感じた面談期間でした。

アトリエかもめ支援員記

